

ロゴと写真の解説



メービウスの帯をかたどる本プログラムのロゴは、人、モノ、情報、資本などが越境的に移動するフローと同時に、それらが緊密に結びつき、簡単には解けない現代世界の構造を表わす。(デザイン:伊藤滋章)



アメリカ・メキシコの物理的国境は、グローバル化の進展する90年代にむしろ始めて本格的に構築されていった。自然の大地を切り裂き、社会的空間の連続を否定する力のシンボルである国境は、実はさまざまトランスナショナルなつながりを不平等に扱う装置だ。(サンディエゴ・ティファナ地区、2008年8月、撮影:小井土彰宏)



人口70万人の韓国の安山市。ここには約25,000人の外国人が居住していて、自治体の中でもっとも外国人の集住が見られる地域の一つである。特に元谷洞(Wongok-dong)では1999年から「国境なき町」作りプロジェクトが始まり、様々な活動が見られる。写真は、2007年正月に行われた「国境なき町」のフェスティバル。(解説:呉泰成、撮影:伊藤るり)



フランス・パリにおける反グローバル化の集会…2003年11月にパリで開催されたヨーロッパ社会フォーラム「もう一つのグローバル化」(altermondialisation)をキーワードに、反グローバルイズム、反遺伝子組み換え作物、環境、女性、「持たざる者」など、あらゆる文脈で抑圧を受けた者たちが声を上げ、既存の枠組みに対抗するために結束してデモ行進をおこなったもの。(撮影:野村佳世)



ドイツのトルコ人・クルド人移民協会の共同施設に描かれたグラフィティ…ベルリン市、フリードリッヒスハイン・クロイツベルク区は代表的移民集住地域であるが、並存するドイツのオルタナティブ文化が独特の魅力を地区に与えている。(撮影:武田歩)



日本・愛知県豊田市のブラジル人労働者集住地域…急激に日本で増大した日系人は、90年代以来の産業再編成を支えてきた。その結果として出現した日系人の集住する集合住宅地域を探访する一橋の学生・院生。さまざまな矛盾を抱えながら人々の生活の基盤が形成されたが、今まさにそれが危機に陥っている。(愛知県、2006年11月、撮影:小井土彰宏)



インドネシア・ジャカルタでの2009年国際女性デー…日本に看護師、介護福祉士候補生を派遣する同国では、今年、女性議員30%割当法廃案などを受け、女性たちが、「声をあげることをやめない」をスローガンに行進した。(撮影:平野恵子・お茶の水女子大学)